

10月 園だより

< 教育目標 > ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R8. 9. 30 文京区立本駒込幼稚園



相手に思いを寄せること

副園長 蟹 知子

涼しい日が続き、暑かった夏がもうずいぶんと前のことのようになります。保育室には、子どもたちが作ったコスモスやブドウなどが飾られ、すっかり秋の雰囲気になりました。

2学期が始まって1か月。連休もあり、登園した日は少なかったかもしれませんが、子どもたちの成長した姿を感じる場面が多く見られました。

すみれ組が体育館で折り返しリレーをした時のことです。走っている途中で靴が脱げてしまった子がいました。それだけが敗因ではありませんが、相手チームと差が開き、結局チームは負けてしまいました。靴が脱げてしまった子は悔しさ、友達への申し訳なさから泣いていました。すると後ろにいた子が何も言わずに泣いている子の背中をさすってあげます。周りからも「大丈夫だよ」「負けて悔しかった？」と優しい声が掛けられました。誰かに言われたのではなく、目の前にいる子の思いを感じ取り、自分から、自然と動く姿がとても素敵でした。

他にも、祖父母に向けたプレゼント作りや他学級のために作った月見団子・・・など、自分ではない“誰か”に思いを寄せる姿は、挙げたらきりがありません。

このような心の成長は、急に現れるものではありません。さくら組やちゅうりっぷ組にも、心の成長を支える土台が見られます。友達と一緒に楽しさを共有したこと、嬉しい気持ちや嫌だった気持ちなど、どんな思いでも先生に受け止めてもらったこと、そうした一つ一つが子どもたちの中に積み重なっているのだと感じます。そして、自分がされて嬉しいことをしたり、そのことで誰かが喜んでくれたりした経験、また、誰かに自分がされて嬉しいことをしてもらった経験の積み重ねが、「この子はどう思うかな」「これをしたら喜んでくれるかな」と、相手の気持ちに思いを寄せて行動する姿につながっていきます。

体の成長に比べると、心の成長は見えにくいこともあります。しかし、子どもたちの何気ない言葉や行動の中には、その成長がたくさん現れています。

さて、園庭の完成までもう少しです。改修工事を終えた園庭で、子どもたちが友達と関わりながらどんな遊びを生み出し、どんな姿を見せてくれるのか、今から楽しみです。保護者の皆様も、子どもたちと一緒に園庭の完成を楽しみにいただければと思います。

次年度に向け、幼稚園説明会も始まっています。大切なお子様の通う幼稚園を考える中で、本園に思いを寄せてくださったことを大変嬉しく思います。10月は13日（火）に説明会を予定しています。お知り合いに幼稚園の入園をお考えの方がいらっしゃいましたら、ぜひお声掛けください。

